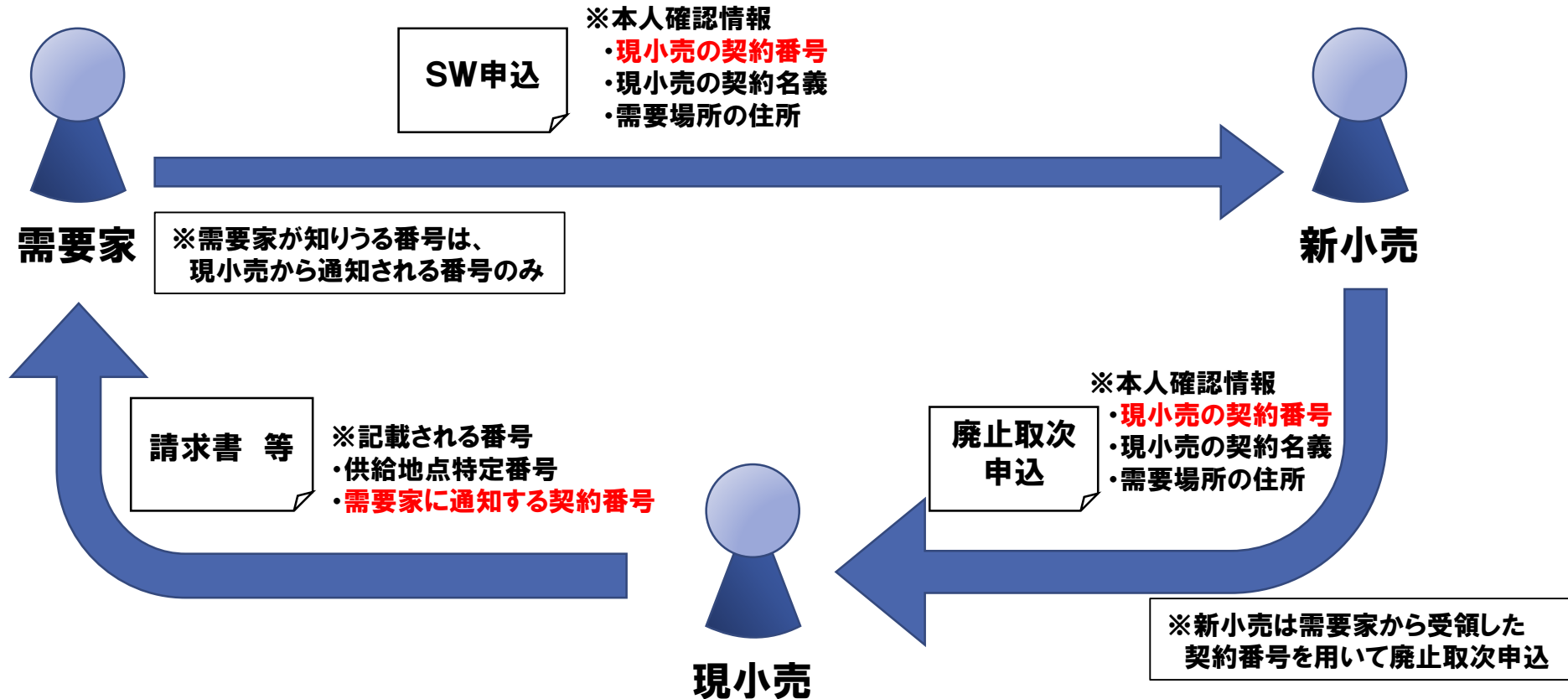


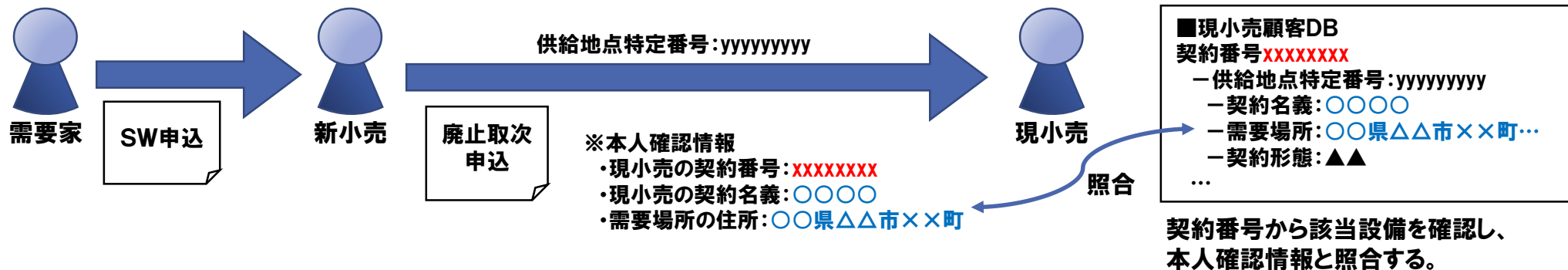
廃止取次本人確認における【現小売の契約番号】

- なぜ、廃止取次本人確認時に現小売の契約番号を用いることとしたか。
- 一新小売からの廃止取次申込に対し、その申込が必要家本人のものであることを申込を受けた**現小売が確認できる**ようにするため。(基本的に需要家本人しか知り得ない情報)

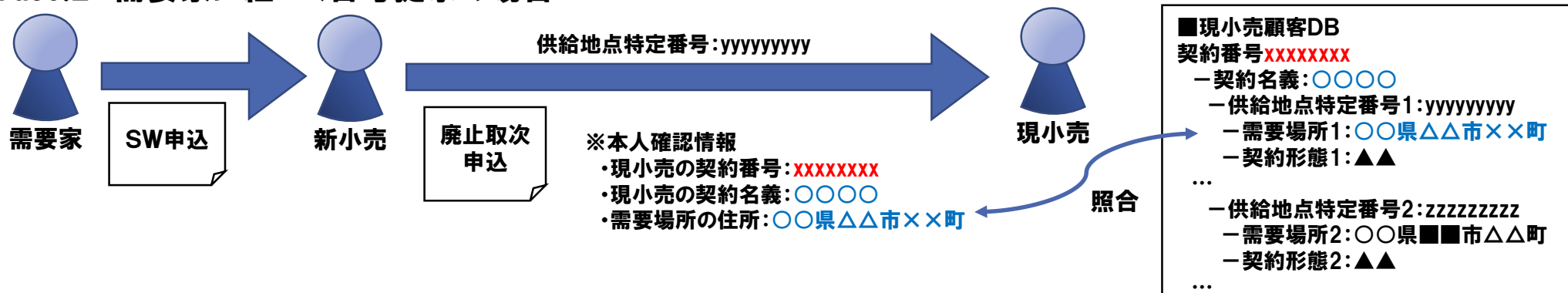


現小売は、何を需要家に伝えておけば、廃止取次申込の際本人であるか確認ができるかが重要。  
 廃止取次時の情報サイクルで、新小売から情報を受領した時に本人確認に困らない情報を需要家に提供する。

## Case.1 設備に紐づく番号提示の場合

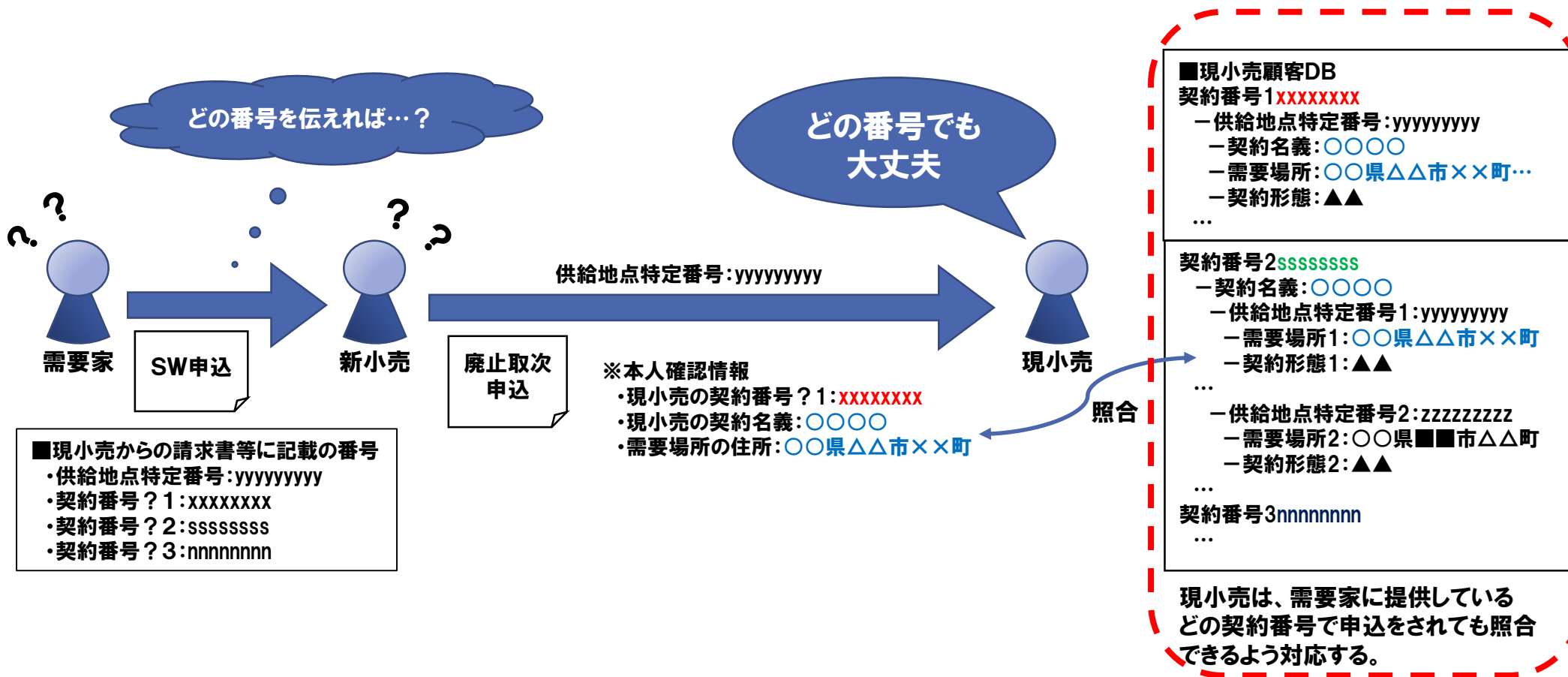


## Case.2 需要家に紐づく番号提示の場合



現小売が需要家に対し通知する番号が1つであれば、設備/需要家どちらに紐づいていても本人確認は可能。現小売の顧客管理体系にあった番号を通知すればよい。(通知する番号が何に紐づいているかは重要ではない)

## Case.3 現小売が複数の番号を提示する場合



**現小売から需要家に対し複数の番号を通知する場合、  
現小売は、需要家に通知したどの番号で廃止取次を申し込まれても本人確認できるよう対応する。**